

シーエムエー

島上勝則社長

「制作物の進み具合を見える化する」ことで、ウェブデザイナーの時間に対するコスト意識が芽生えたのが「一番の収穫」

ひとこと



経済産業省が二〇〇七年度創設した「中小

企業IT（情報技術）経営力大賞」の一環で、IT経営実践企業に認定されたインターネットビジネスコンサルティング会社、シーエムエー（浜松市中区板屋町）の島上勝則社長（四四）は胸を張る。  
大賞はITを駆使して効率的

### 「見える化」でコスト意識醸成

な業務を進めている企業を表彰する制度で、入賞は逃したものの、一定水準以上と認められた百二十九社の中に入り、「やっとなわが社のIT化も全国レベルに近づいた」と手応えを感じている。

ウェブサイト制作、ネット広告代理などを手掛ける。会社設立から七年半。スタッフの平均年齢も二十八歳と若い。ITで商売する会社が遅れていてはと取り組んだのが、ウェブデザイナーの工程管理だった。デザイナー一人当たりの粗利益高を毎日把握することによって、効率化のさまざまなアイデアが生まれ、逆に、具体的な問題点解決の糸口をつかむ仕組みができたという。

2008年3月6日付 中日新聞 経済11面より